

研究主題

つなげる つながる ことばとこころ  
～言語活動の推進をめざして～

大阪市立福小学校

1. 取組内容

研究目的

支援を要する児童を中心に据え、ICTの特性を生かした「児童が教え合う学び合う協働的な授業づくり」をめざした研究を行う。

研究内容

- 互いに尊重し、教え合い学び合う授業展開の工夫を図る。
- 各教科・領域等様々な言語活動におけるタブレット端末等の活用により「言葉」の獲得を図る。

活動の内容

○校内教職員研修会

- ☆ICT研修会：言語活動のためのタブレット端末の活用について（7月）
- ☆ICT研修会：タブレット端末及びアプリの授業での活用について（7月）
- ☆ICT研修会：ICTを活用した授業づくりについて（10月）
- ☆研究発表会（公開授業・講演会）：言語活動の推進をめざして（2月）



○授業実践例

☆1年生活科（1月 3時間）：わくわくふゆがやってきた むかしからのあそびにちょうせん

地域の方から昔遊びを教えていただいている様子を、班で撮影した。その後「ロイロノート」でプレゼンテーションをつくり、発表した。発表を聞いている友だちにその遊びを教えながらいっしょに遊ぶことにより、話し合い教え合いができた。<タブレット端末3台（各班1台）、電子黒板>



☆1年音楽科（2月 2時間）：おむすびころりん

班で、打楽器によるリズム奏をつくり、演奏する様子を動画で撮影し、工夫する点などを話し合ったり、全体で共有したりした。

<タブレット端末4台（各班1台）、電子黒板>



☆2年国語科（10月 3時間）：聞き合おう、みんなのたからもの

子どもたち一人一人の宝物を、班ごとに分けて撮影し、タブレット端末の中の宝物の写真を見せながら、友だちに紹介した。見せたいところを拡大するなどして工夫して紹介することができた。

<タブレット端末6台（各班1台）>



☆3年理科（11月 2時間）：かげのでき方と太陽の光

光を一カ所に集めると温度や光がどうなるかの実験をタブレット端末で撮影した。そして次時にそれを見ながらまとめる、実験の振り返りに活用した。<タブレット端末6台（各班1台、発表用1台）、テレビ画面>



☆3年国語科（2月 11時間）：世界の家のつくりについて考えよう

教科書の本文や図、あらかじめ保存しておいた写真等から、家のつくりの工夫を見つけ出したり、大事なところをチェックしたりする活動をした。単元の後半では、自分たちでページに画像を取り入れ、それをチェックしながら発表する活動も行った。

<タブレット端末6台（各班1台、発表用1台）、テレビ画面、電子黒板>



☆4年総合（11月 3時間）：ヨシの水の浄化作用について

電子黒板を用いて前時の振り返りを行い、タブレット端末に取り込まれた動画「ヨシの空気の発生の様子」を見て、現象（あわの正体）について考えた。<タブレット端末8台（各班1台）、電子黒板>



☆5年国語科（6月 2時間）：新聞記事を読み比べよう

同じ内容の記事を2つの新聞社で比べる際、班ごとに写真の効果をとらえ、それが文章中に反映されている箇所を探した。それをタブレット端末で撮影し、全体共有のときにスクリーンに映し出して班ごとに違いを見つけた。<タブレット端末6台（各班1台）、プロジェクター、スクリーン>



☆5年体育科(10月 4時間):組体操(千手観音)

列ごとに手の動きがそろっているか確認するために、前からタブレット端末で動画を撮った。後ほど子どもたちが見直し、改善に役立てた。 <タブレット端末1台>

☆6年国語科(6月 2時間):「わたし」の意見を書こう

班での交流内容をタブレット端末で撮影し、友だちに伝えるように発表した。 <タブレット端末6台(各班1台)>



☆6年理科(10月 1時間):地層のでき方

地層のでき方の実験をタブレット端末ビデオと写真撮影し、その資料を用いて、班ごとに観察した。 <タブレット端末9台(各班1台)>

☆特別支援学級国語科(6月 1時間):ことばで伝えよう

絵本「ノントン泳ぐの大すき」の挿絵をタブレット端末に取り込み、その絵をプロジェクターで映して、高学年の児童が低学年の児童に読み聞かせをした。 <タブレット端末1台、プロジェクター、スクリーン>



☆特別支援学級国語科(2月 6時間):しらべたことをはっぴょうしよう

インターネット機能で調べたことを、アプリ「ロイロノート」を使ってプレゼンテーションをつくり、発表や話し合い活動を行った。

<タブレット端末(1人1台)>

☆特別支援学級(通年) <タブレット端末1人1台>

国語科:文字を覚える(文字・言葉の定着)

<アプリ「かなトレ」「Ga Gi Gu Ge Go 100」「Aieue Origami」「かるた」>

国語科:文字を覚える(文字・言葉・発語の定着)

<アプリ「Show Me」「ロイロノート」>

算数科:数をかぞえよう(たし算・ひき算の定着)

<アプリ「算数小学1年」「あわせ10」「Countable 10」>

算数科:かけ算(かけ算の定着)

<アプリ「算忍一九九一」「算数小学2年」「あんざんマン」>

算数科:図形(図形の定着)

<アプリ「3D ずけい」>



☆児童委員会活動



健康委員会:学校保健委員会<タブレット端末1台、電子黒板>

普段の手の洗い方をチェックするために、蛍光剤の入ったローションを塗って手を洗い、その後、ブラックライトに手をかざす。その様子をタブレット端末で撮影して電子黒板で写し、手洗いの仕方を確認し合った。(共催:P T A)

## 2. 成果と課題

### 成果

- 本校は、経験年数の少ない教員が単学級の担当をしており、授業改善を図りにくい環境である。今年度、研究支援事業を受けたことにより、ICTを授業づくりの手法として活用でき、協働的な学びをめざした授業の展開を進めることができた。それにより、教員の授業力と子どもの興味・関心を高め、交流学习等による言語活動を活発にすることができた。
- ICT活用と実物の教材を融合しながら教材を作成・工夫したことで、意欲的に考える子どもの姿が見られ、成就感や満足感を得る学習を進めることができた。
- 学び合う場を工夫し、ペア・グループ・全体とそれぞれの学習スタイルに合わせて、タブレット端末や電子黒板を活用したことで、子ども同士の意見交流などを通して、考えを深めるなど言語活動を活発にすることができた。さらに、文字・言葉・文等、言葉への興味・関心が高まり、基礎的・基本的な語彙の習得ができた。
- 特別支援学級など特に支援の必要な子どもたちも、互いに声を掛け励まし合う中で、タブレット端末を活用して段階的に学習を進めることができた。
- 「協働的な学び」「言語活動」という課題を意識した授業づくりを行うことができ、教員の授業力向上につながった。

### 課題

- タブレット端末の機器やアプリの使い方について、教職員の技能面に課題があるので、他校や教育センターの研修会等に積極的に参加し、技能や指導力を高めて授業に活かす必要がある。